

大阪教区被害状況 2018/6/29

組	被害報告件数	門の倒壊や本堂屋根瓦等の大きな被害	本堂・庫裡等の建物や境内の広範囲に及ぶ被害
教区内別院 (茨木別院)	1	1	
第4組	1		1
第6組	2		2
第7組	10		10
第8組	1		1
第9組	10		10
第10組	15	6	9
第11組	13	4	9
第12組	2		2
第13組	3		3
第14組	14	2	12
第15組	9		9
合計	81	13	68

- 被災寺院数…茨木市や高槻市を中心に、81寺の被災報告を受けております。茨木別院の被害状況としては、以下の通りです。

本堂：祖師前北側の柱に亀裂

後堂：土壁が半分程崩れて外が見える状態。土壁は全体的に浮き上がっている。

書院：壁と柱の間に隙間。

事務所：玄関の軒屋根から瓦数枚落下。また、軒屋根全体が前に傾いており、倒壊の恐れがある。一部の壁が剥がれて下地が見えている。

太鼓楼：側面の壁の約2平方mが剥がれて下地が見えている。

- 各寺院における被害内容の詳細

- ・本堂、庫裡、門、鐘楼堂等の建物に多数の亀裂（ひび割れ）
- ・御本尊及び仏具の損傷や破損
- ・土壁の損傷、塀の損傷、建物一部のゆがみ
- ・屋根瓦の落下やずれなどの被害
- ・墓石や灯籠の倒壊

といった被害報告を複数カ寺受けております。

なお、現在も余震が続いており、さらなる被害の拡大も予想されますので、引続き現地での被害状況の確認を行って参ります。

